

令和5年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科第1学年  
「高校生×地域連携交流会」

実施年月日: 令和5年12月2日(土)

実施場所: 八戸グランドホテル

概要: 郷土に愛着と誇りを持ちつつ、地域課題の解決に貢献できるような圏域の将来を担う人材の育成のため八戸市が実施しているものである。



スポーツ科学科生徒の感想

種市 夏陽(三沢第一中学校出身・ヴァンラーレ)

私は今回地域連携交流会に参加してみて、同年代の方々なのにとっても深い所まで考えていて驚きました。その中で私は、スピーカーの平沼さんの話の中で出てきた、留学など新しいことにチャレンジすることで自分の新しい居場所ができ、失敗しても違うコミュニティがあるので周りの目や失敗を恐れずに行動することができる、という言葉に感銘を受けました。これまで私は行動を起こす時に周りからどう思われるか、失敗したらどうしようなど考えてしまっていたのでこれからは失敗を恐れず積極的にチャレンジしていきたいと思います。

澤田 龍成(根城中学校出身・陸上競技部)

私は今回初めて地域連携交流会に参加しました。同年代の方や大人の方とたくさんの地域の課題について話し合いました。その中で私は、スピーカーの極檀さんの話の中で出てきた、「地元を愛する人を増やしたい」という言葉に刺激を受けました。科学メーカーに勤めていた極檀さんですが、挫折をきっかけに実家の旅館運営をし、地元を愛する人がいることを知り、もっと魅力を増やそうとりんごをエシカルレーザーにするなど自分の培ってきた力を地元で生かしていることに感銘を受けました。今までの私は挫折そうになると諦め、最後まで挑戦し尽くしていませんでしたが、これからは自分の培った力・仲間を頼り自分の限界を越えて挑戦していきたいです。